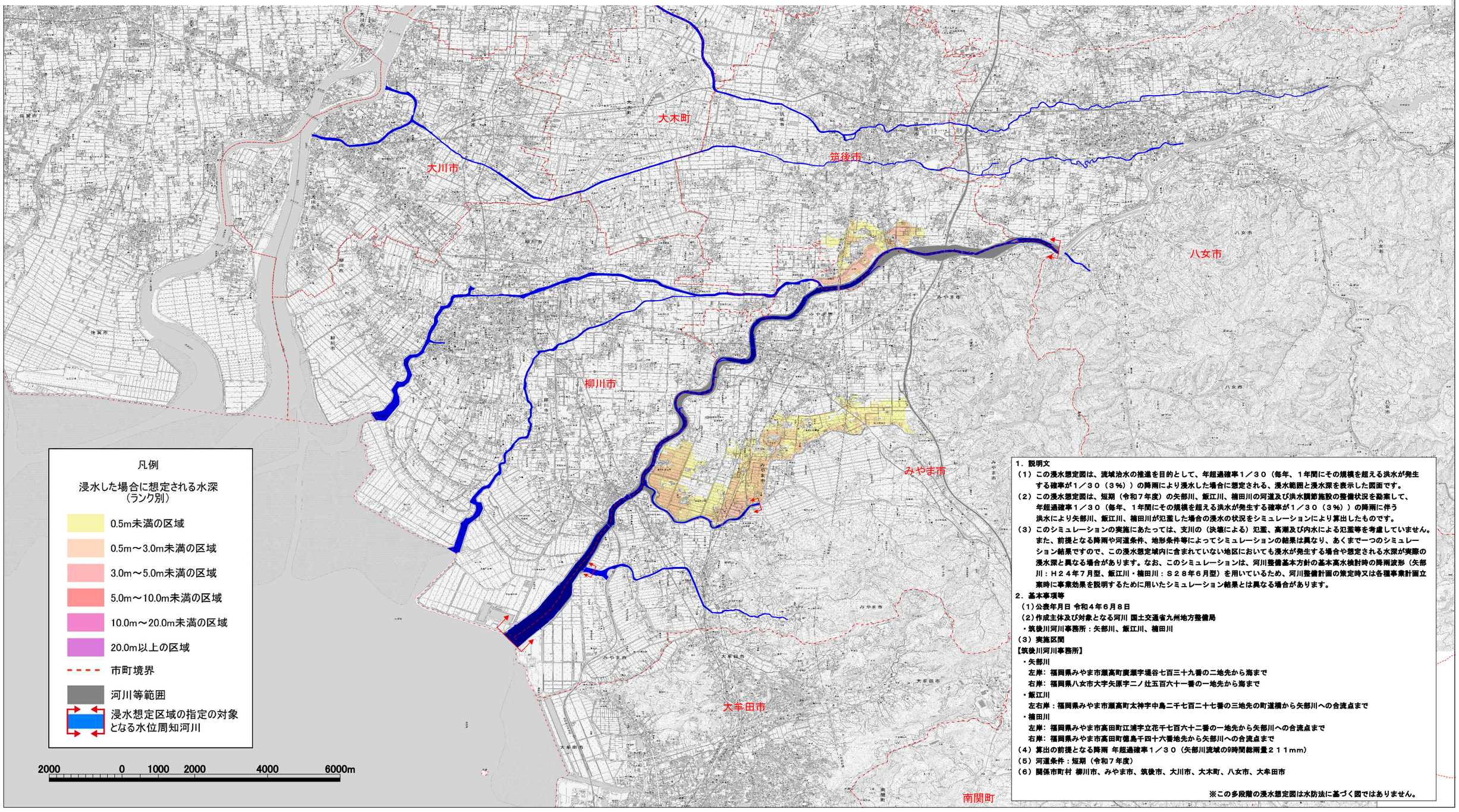
矢部水系　国管理河川の浸水想定図（1/30規模降雨）
【短期河道】



1．説明文

（1）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（2）この浸水想定図は、短期（令和７年度）の矢部川、飯江川、楠田川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））の降雨に伴う洪水により矢部川、飯江川、楠田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（矢部川：Ｈ２４年７月型、飯江川・楠田川：Ｓ２８年６月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2．基本事項等

（1）公表年月日 令和４年６月８日

（2）作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局

・筑後川河川事務所：矢部川、飯江川、楠田川

（3）実施区間

【筑後川河川事務所】

・矢部川

左岸：福岡県みやま市瀬高町廣瀬字堤谷七百三十九番の二地先から海まで

右岸：福岡県八女市大字矢原字二ノ辻五百六十一番の一地先から海まで

・飯江川

左右岸：福岡県みやま市瀬高町太神字中島二千七百二十七番の三地先の町道橋から矢部川への合流点まで

・楠田川

左岸：福岡県みやま市高田町江浦字立花千七百六十二番の一地先から矢部川への合流点まで

右岸：福岡県みやま市高田町徳島千四十六番地先から矢部川への合流点まで

（4）算出の前提となる降雨 年超過確率１／３０（矢部川流域の9時間総雨量２１１mm）

（5）河道条件：短期（令和７年度）

（6）関係市町村 柳川市、みやま市、筑後市、大川市、大木町、八女市、大牟田市

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

国土地理院の電子地形図25000『大牟田』『南関町』『山鹿』『七ツ家』『柳川』『野町』『高井川』『佐賀南部』『羽犬塚』『八女』『黒木』『佐賀北部』『久留米西部』『久留米』『草野』『広滝』『中原』『鳥栖』『田主丸』を掲載